

# 令和 7 年度公共事業再評価に係る評価書

令和 7 年 1 1 月

宮 城 県

# 目 次

	ページ
評価書	1
別紙 公共事業再評価に係る評価書の概要	3
別添 1 評価結果	4
（１）一般国道 286 号支倉道路改良事業	5
（２）出来川総合流域防災事業	25
（３）洞堀川総合流域防災事業	39
別添 2 答申（写）	53

# 評 価 書

令和 7 年 1 1 月  
宮 城 県

令和 7 年度に行った公共事業再評価の結果は、以下のとおりである。

## 記

### 1 対象事業名

- ①一般国道 286 号支倉道路改良事業
- ②出来川総合流域防災事業
- ③洞堀川総合流域防災事業

### 2 事業の概要

別紙のとおり

### 3 県民生活及び社会経済に対する効果並びに把握方法

別添 1 のとおり「事業の進捗状況」、「事業を取り巻く社会経済情勢等の変化」、「代替案との比較」、「コスト縮減」、「費用対効果」の項目で事業効果を把握した。

### 4 評価の経過

令和 7 年 7 月 3 1 日 行政活動の評価に関する条例第 5 条の書面（評価調書）の確定  
令和 7 年 8 月 1 日 宮城県行政評価委員会への諮問  
令和 7 年 8 月 1 日～8 月 3 1 日 条例第 9 条に基づく県民意見聴取  
令和 7 年 8 月 2 7 日 同委員会公共事業評価部会（第 1 回開催）  
令和 7 年 9 月 1 2 日 同委員会公共事業評価部会（現地調査）  
令和 7 年 1 0 月 3 0 日 同委員会公共事業評価部会（第 2 回開催）  
令和 7 年 1 1 月 1 1 日 同委員会及び同委員会公共事業評価部会からの答申  
令和 7 年 1 1 月 1 8 日 県の最終評価（評価書）の確定

### 5 行政評価委員会の意見

対象 3 事業を「事業継続」とした県の評価に対し、すべて「妥当」とした。  
なお、次のとおり事業の実施に関する意見が付された。

今後の事業の実施に関する意見

一般国道 286 号支倉道路改良事業

マニュアルにより算出される便益に加え、数値化が困難な便益についても可能な限り明記し、県民に理解しやすい形で情報発信に努めること。

出来川及び洞堀川総合流域防災事業

河川事業の性質上工期が長期間に渡ることが多いことから、近年の気候変動に伴う大雨等の気象災害の激甚化・頻発化も考慮し、国における気候変動を踏まえた計画の見直し等の動向について引き続き注視しつつ事業を推進すること。

## 6 評価の結果

評価の結果の詳細は、別添 1 のとおり。

なお、事業の実施に関する意見に対しては、以下のとおり対応する。

### 一般国道 286 号支倉道路改良事業

今後、マニュアルにより算出される便益に加え、数値化が困難な便益がある場合は、可能な限り明記し、県民により分かりやすく発信する。

### 出来川及び洞堀川総合流域防災事業

近年の気候変動に伴う大雨等の気象災害の激甚化・頻発化を考慮し、国における気候変動を踏まえた計画の見直し等の動向について引き続き注視しつつ、事業推進に努める。

## 公共事業再評価に係る評価書の概要

番号	事業名	事業採択年度	完成予定年度	事業目的・事業概要	全体事業費(億円)	進捗率(%)	行政評価委員会(公共事業評価部会)の意見	評価の結果
1	一般国道 286 号支倉道路改良事業	H28	R11	<p>一般国道 286 号は、宮城県仙台市青葉区を起点とし、柴田郡川崎町を経由し、山形県山形市に至る延長約 65 km(うち宮城県内延長約 34 km)の幹線道路であり、第 1 次緊急輸送道路に指定されている。</p> <p>当該工区は、急峻な地形に沿った道路であり、幅員狭隘、線形不良など道路構造上の課題がある現道となっており、安全な通行に支障を来しているため、バイパスによる線形改良により、安全で円滑な交通の確保を図るものである。</p> <p>施工延長 L=1.3km</p>	55.7	35.5	<p>事業継続妥当</p> <p>【今後の事業実施に関する意見】</p> <p>マニュアルにより算出される便益に加え、数値化が困難な便益についても可能な限り明記し、県民に理解しやすい形で情報発信に努めること。</p>	<p>事業継続</p> <p>【意見への対応】</p> <p>今後、マニュアルにより算出される便益に加え、数値化が困難な便益がある場合は、可能な限り明記し、県民により分かりやすく発信する。</p>
2	出来川総合流域防災事業	S63	R30	<p>出来川は、下流部は国営農業水利事業、上流部は局部改良事業により改修されているものの、流下能力が低く、瘦堤となっているため、大雨洪水時には漏水、天端越水等により沿川では浸水被害が頻発している。このため、引堤嵩上げ等により堤防強化、流下能力を確保し、沿川の治水安全度の向上を図るものである。</p> <p>河川改修延長 L=6,330m 築堤 V=378,000m<sup>3</sup>、掘削 V=189,000m<sup>3</sup>、護岸 12,700m<sup>2</sup>、道路橋 3 橋、サイフォン等</p>	95.3	46.1	<p>事業継続妥当</p> <p>【今後の事業実施に関する意見】</p> <p>河川事業の性質上工期が長期間に渡ることも多いことから、近年の気候変動に伴う大雨等の気象災害の激甚化・頻発化も考慮し、国にお</p>	<p>事業継続</p> <p>【意見への対応】</p> <p>近年の気候変動に伴う大雨等の気象災害の激甚化・頻発化を考慮し、国にお</p>
3	洞堀川総合流域防災事業	H2	R20	<p>洞堀川は河積が小さく流下能力が低いため、洪水時には流域で越水し、耕地及び家屋の浸水被害が発生している。このため土地区画整理事業と併せて、未改修部分の蛇行修正と築堤及び河積の拡大により、大和町の中心市街地である吉岡地区の治水安全度向上を図るもの。</p> <p>河川改修延長 L=2,725m 築堤 V=8,000m<sup>3</sup>、掘削 V=130,000m<sup>3</sup>、橋梁 11 橋、樋門・樋管 18 ヶ所</p>	24.1	61.5	<p>の気象災害の激甚化・頻発化も考慮し、国における気候変動を踏まえた計画の見直し等の動向について引き続き注視しつつ、事業推進に努める。</p> <p>計画の見直し等の動向について引き続き注視しつつ事業を推進すること。</p>	<p>事業継続</p> <p>【意見への対応】</p> <p>近年の気候変動に伴う大雨等の気象災害の激甚化・頻発化を考慮し、国にお</p>